

はまだ議会だより mini

市民と議会をつなぐ～2年間を振り返って～

この2年間、議会広報広聴委員会では、市民に信頼される開かれた議会を目指し、委員全員で意見を出し合い改善を進めてきました。議会だよりや議会だよりminiの内容をより分かりやすく、身近に感じていただけるよう工夫するとともに、「地域井戸端会」や「はまだ市民一日議会」、主権者教育を意識した「高校生との意見交換会」などを通じて市民の声を伺い、議会(委員会)での討論や提言など議会の活性化につなげてきました。こうした取組が評価され、この間に多くの議会視察も受け入れることができました。2年間の活動を支

えていただいた市民の皆さま、関係者の皆さまに感謝申し上げますとともに、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。(議会広報広聴委員会)



▲はまだ市民一日議会 ▲高校生との意見交換会

移動の自由をつくる提言

「持続可能な地域公共交通」をテーマに、市民意見の聴取や先進地視察を重ね、25回にわたり協議を行いました。利用者減少や運転手不足によりバスの減便・廃線が進めば、市民の移動の自由は大きく制約されます。こうした状況を踏まえ、行政と公共交通の運行事業者が将来を見据えて路線再編を協議すること、また生活路線バスについては

地域の実情に応じ、小型車両や予約型方式を導入、あいのりタクシーなど運行事業制度の継続と拡充など、暮らしに直結する移動手段の確保を図るよう提言しました。少子高齢化に伴う人口減少が進む中、暮らしやすいまちを目指すうえで必要な誰もが利用しやすく持続可能な交通環境が整うよう今後も努めてまいります。(総務文教委員会)

議員のつぶやき

“人と会うのが元気の源!”

今年の夏は毎日30℃越えの酷暑。少し動くだけで汗が噴き出す暑さの中でも、地域のグラウンドゴルフの練習は集いの場です。「暑いけど大丈夫ですか?」と尋ねると「みんなと会うのが楽しみだから、対策をしながらでもやりたい」との返事が。元気の素は人とのつながりと体を動かすことと感じました。(柳楽真智子)



議長日誌 9/15 2025世界陸上東京大会

3000m障害決勝への三浦龍司選手出場に伴い、国府小学校体育館でパブリックビューイングが行われ多くの市民と応援しました。ラスト1周、果敢に最後までチャレンジする三浦選手の姿は浜田市民だけでなく、日本国民に大きな感動と元気を与えました。三浦選手お疲れ様、そしてありがとうございました!



浜田市議会はSDGsを推進しています。